

第 10 章

電気・ガス・上下水道

第 10 章 電気・ガス・上下水道

電気

平成 15 年度における電灯需要の契約口数をみると、484 万 6751 口にのぼり、前年度の 480 万 6746 口に比べ 0.8%(4 万 0005 口)の増加となった。その内訳をみると、従量制が 416 万 6720 口(前年度比 0.8%増)となっている。また、使用電力量は 187 億 9745 万 kWh で、前年度に比べ 2.9%の減少となり、1 口当たりの年間使用量は 3878 kWh (前年度比 3.7%減)となった。

一方、電力需要についてみると、契約口数は 52 万 2727 口で、前年度に比べ 1.4%の減少となった。使用電力量は 237 億 3006 万 kWh となっている。

ガス

平成 15 年度中の大阪ガス株式会社における都市ガスの生産量は 55 億 7830 万 m³ で、前年度の 54 億 2447 万 m³ に比べ 2.8%の増加となった。

また、消費量は 41 億 921 万 m³ で、前年度に比べ 0.3%の増加となった。これを内訳でみると、工業用が 19 億 4945 万 m³ で、前年度に比べ 0.1%の減少となり、商業用が 5 億 9516 万 m³ で、前年度に比べ 0.2%の減少、公用が 1 億 6616 万 m³ で、前年度に比べ 0.1%の減少、医療用が 1 億 3715 万 m³ で、前年度に比べ 3.3%の増加となり、家庭用が 12 億 6130 万 m³ で、前年度に比べ 0.1%の増加となっている。

なお、大阪府内の需要家の総数は 376 万 2634 戸で、前年度に比べ 1.1%の増加となっている。

上下水道

・ 上水道 平成 15 年度における上水道の総給水量をみると、年間給水量は 12 億 5978 万 m³ で、前年度に比べ 1.7%の減少となっている。これを地域別にみると、大阪市地域が 4 億 7770 万 m³ で、全体の 37.9%を占めている。

栓数は 306 万 739 件で、前年度に比べ 0.8%の増加となっている。

また、1 人 1 日平均給水量は 394 l で、前年度に比べ 2.3%の減少となっている。これを市町村別にみると、1 位が大阪市の 506 l で、以下、泉佐野市の 447 l、岬町と美原町の 416 l の順となっている。

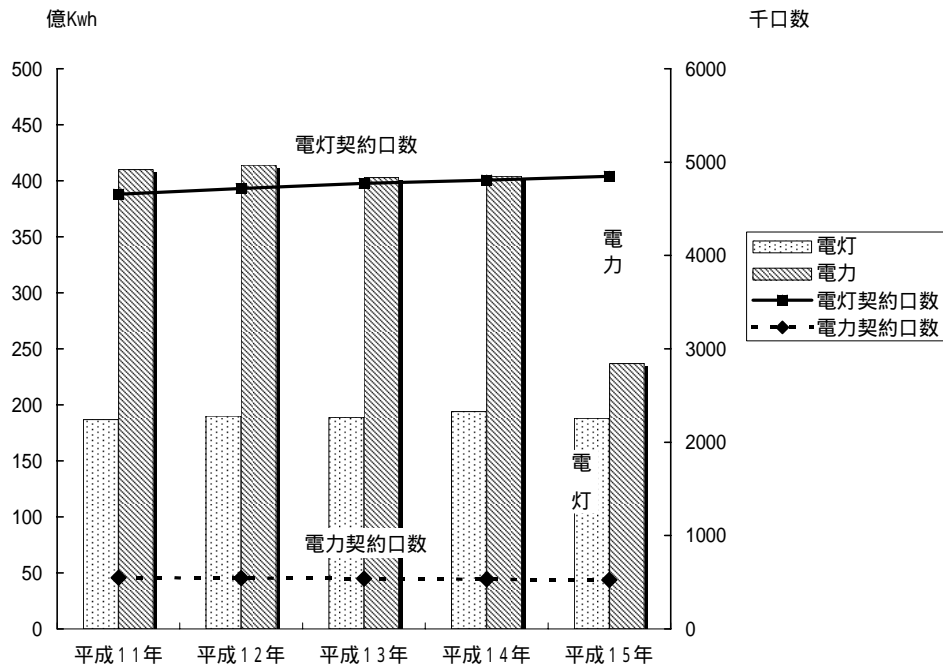
工業用水の使用状況をみると、1 日当たりの総使用量は、前年比 2.0%増の 778 万 7137 m³ となっている。

このうち、淡水の使用量は 730 万 3736 m³ で、前年に比べ 2.4%の増加となっており、全体の 93.8%を占めている。これを水源別(淡水)にみると、回収水が大半の 90.0%を占めており、その内訳は、化学が 50.6%、石油・石炭が 24.4%、鉄鋼が 16.7%と、この 3 業種で回収水全体の 9 割以上を占めている。

・ 下水道 府内における平成 15 年度末の下水道の普及率をみると、処理人口が 89.1%で、前年度より 1.1 ポイントの上昇となっている。このうち、大阪市地域は 99.9%で、ほぼ全域に普及している。

また、都市下水路延長では、公共下水道への転用がすすんでいるが、都市計画決定が 1 万 2582 m、供用中が 1 万 1982 m となっている。

使用電力量・契約口数の推移



地域別都市ガス消費量の構成比 (平成15年度)

